

NUBIC 知的財産情報開示

特別会員開示日：2017年3月28日

各 位

NUBIC 知的財産情報の要約を公開いたします。

技術移転等を御希望の場合は、ホームページの「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォームからお申込みください。各担当コーディネーターから御連絡申し上げます。

「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォーム：

[TOP](#)>[共同・受託研究](#)>[申込書／契約書](#)>[本学研究シーズの利活用の申込み](#)>[WEB](#) から

出願番号 2016-251748

整理番号 12073

担当者 井上 典之

表題	電波暗箱	
発明の概要・応用	通常、電波暗箱内面に用いる電波吸収体は、同一の電波吸収体を敷詰め ていた。このため、電波暗箱の内空間を広げるには、電波暗箱の外寸法を 広げる必要があった。電波吸収体には、ピラミッド型電波吸収体を用いる のが一般的で、その構造は、周波数、吸収特性によって高さ方向が変わり、 低周波、或いは、高吸収特性を得るには、より高さが高い構造の電波吸収 体を用いることになり、低周波域での評価では電波暗箱の外寸法が、必然 的に大きくなる欠点があった。本発明では、無線携帯端末の受信感度特性 評価が、簡易的な評価環境である電波暗箱において、電波暗箱内の面によ って異なるサイズのピラミッド型電波吸収体を適用すること及び、電波暗 箱内の波源面に対して側面側の一部の電波吸収体を内側に傾けた構造の特 徴とした電波暗箱構造を提供するものである。これにより通常の電波暗箱 サイズから小型化を可能とする。更に、製造上、或いは、利便性の観点か ら対面の電波吸収体を変更することで、評価帯域の範囲として低周波の設 定を容易に変更できることも有した電波暗箱構造を提供するものである。	
発明の特徴・効果	・無線携帯端末の送受信特性を評価する評価環境を与える。例えば、評価 周波数の広帯域化が必須な無線携帯端末の性能評価のできる電波暗箱、 或いは、限られた設置面積で設置する電波暗箱を製作できる。 ・本研究に係る次世代無線携帯端末の評価に必要な評価環境は、これまで 以上の広帯域化、更に、利便性の観点から電波暗箱のような簡易な評価 環境のニーズが高まると予測する。	
技術分野	電気・電子	



【問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南 4 - 8 - 2 4 日本大学会館

TEL : 03-5275-8139 FAX : 03-5275-8328 E-mail : nubic@nihon-u.ac.jp